

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況(腸管病原菌含)

検出菌 ウイルス	2019年												2020年															
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月 ~7日	6月 ~14日	6月 ~21日	6月 ~28日	7月 ~5日	7月 ~12日	7月 ~19日	7月 ~26日	8月 ~2日	8月 ~9日	8月 ~16日
カンピロバクター	56	46	78	65	87	128	102	107	157	62	49	91	42	46	55	54	92	37	49	43	48	62	91	60	28	55	27 (28)	26
病原性大腸菌	85	81	77	69	51	59	51	37	85	46	41	39	22	34	39	30	24	13	19	18	13	13	11	14	22	11	21 (26)	6
腸管出血性大腸菌	0	0	0	0	0	0	0	1	3	3	0	0	1	0	0	0	1	0	2	1	1	0	0	0	1	0	1	1
サルモネラ	5	3	11	6	3	11	5	12	18	9	13	13	4	1	2	4	10	1	2	2	2	1	3	2	8	11	3 (4)	3
黄色ブドウ球菌 MSSA	10	9	12	13	14	24	11	17	15	8	10	26	6	20	11	3	9	2	5	4	4	3	4	2	6	4	2	5
黄色ブドウ球菌 MRSA	22	16	22	14	11	12	18	12	15	10	10	10	10	11	17	8	14	3	3	5	3	4	0	6	1	1	6 (8)	2
腸炎ヒブリオ	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	1	0	0	3	1	2	4	1	1	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
ロタウイルス	2	3	2	9	4	5	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	0	1	0	1	3	2	1	0	1	0	1	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	23	23	11	11	2	5	0	1	1	0	6	19	10	14	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0

* ()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和2年第33週(8月10日~8月16日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	7	結核	7	1	1			2		3
三類	5	腸管出血性大腸菌感染症	5	1		1		3		
四類	0	発生なし	0							
五類全数	2	梅毒	2					1	1	
指定	22	新型コロナウイルス感染症	22		1		2	13	1	5

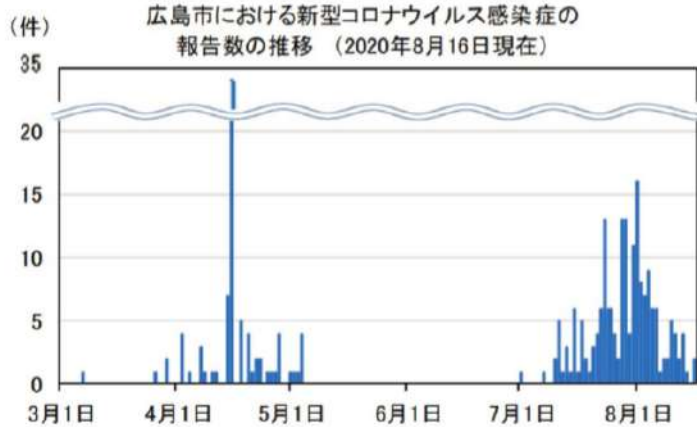
注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

1 新型コロナウイルス感染症

第33週に13件の報告があり、累計は273件となりました。引き続き、毎日の健康管理に注意し、身体的距離の確保、咳エチケット、手洗いの励行、「3密」を避けるなど、感染予防、拡大防止対策を徹底しましょう。

また、気温が高い日が続きますので、人と十分な距離(少なくとも2m以上)が確保できる場合にはマスクをはずす、定期的に換気をしながらエアコンをかけるなど熱中症を予防しましょう。



2 腸管出血性大腸菌感染症

今週は3件の報告があり、今年の累計は15件になりました。例年、10月頃まで報告数が多い傾向にあります。肉等の食品の十分な加熱、食材・調理器具の洗浄や手洗いの励行など、感染予防対策を徹底しましょう。

【参考】広島市ホームページ「感染症情報/腸管出血性大腸菌感染症」

<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/infectious-disease-joho/263.html>

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)過去5年間	発生記号	急増減	前週と比較しておおむね
小児科	インフルエンザ	-	-	0.03		小児科	流行性耳下腺炎	1	0.05	0.31		急増減	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
	咽頭結膜熱	7	0.32	0.35		眼科	RSウイルス感染症	-	-	0.68		増減	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	0.18	1.19			急性出血性結膜炎	-	-	0.05		微増減	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
	感染性胃腸炎	46	2.09	2.55			流行性角結膜炎	3	0.38	0.84		横ばい	ほとんど増減なし
	水痘	1	0.05	0.31		眼科	細菌性髄膜炎	-	-	-			
	手足口病	1	0.05	1.60			無菌性髄膜炎	-	-	0.06			
	伝染性紅斑	-	-	0.10		基幹	マイコプラズマ肺炎	-	-	0.37			
	突発性発しん	5	0.23	0.31			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-			
	ヘルパンギーナ	1	0.05	0.60			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.03			

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	34
小児科定点数	22
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

※第33週は、お盆期間中の医療機関休診の影響があるため、「定点把握感染症報告状況(週報対象)」の発生記号の表示を行っていません。

■ 全数把握感染症報告状況(新型コロナウイルス感染症を除く)

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	85	男性(60歳代)、女性(80歳代)
3	腸管出血性大腸菌感染症	3	15	女性(30歳代)・O26、女性(50歳代)・O26、男性(80歳代)・O26
5	梅毒	1	39	男性(30歳代)